

目指す教育効果

平成30年7月30日
公益社団法人私立大学情報教育協会

目指す教育効果	年度別集計結										平成31年度に目指す教育効果										平成32年度に目指す教育効果										平成33年度に目指す教育効果									
	目指す教育効果の回答数と割合										達成度 中央値	目指す教育効果の回答数と割合										達成度 中央値	目指す教育効果の回答数と割合										達成度 中央値							
	回答 数	10	20	30	40	50	60	70	回答 数	10		20	30	40	50	60	70	回答 数	10	20	30		40	50	60	70														
1. LMS(学修支援システム)などを用いて、事前・事後学修の学修時間を増加させ、知識の定着と理解度の向上を図る	132	62%										50	121	67%										60	90	68%										70				
2. 教員と学生間のコミュニケーションを促進し、主体的な学修の促進を図る	137	64%										50	112	62%										60	83	62%										80				
3. 反転授業やeラーニングを普及させ、知識・技能の定着を図る	111	52%										30	109	61%										40	82	62%										55				
4. 教員と学生、学生同士による双方向授業を通じて思考力・判断力・表現力の向上を図る	91	43%										50	73	41%										60	54	41%										70				
5. 地域社会や産業界と連携した双方向授業を通じて、知識・技能の省察を図る	29	14%										30	31	17%										40	28	21%										50				
6. グループ学修を充実させ、相互評価を通じて思考力・判断力・表現力の向上を図る	88	41%										45	77	43%										50	66	50%										70				
7. 分野を横断した学びを通じて、知識の組合せ、発想力・構想力の向上を図る	20	9%										30	20	11%										50	17	13%										70				
8. Mooc等の外部コンテンツの活用を通じて教育内容の豊富化・充実を図る	10	4%										20	7	4%										25	7	5%										50				
9. アクティブ・ラーニング、PBL、TBLなどの学生主体授業を充実し、課題探求力の向上を図る	107	50%										40	94	52%										55	68	52%										60				
10. PBL、TBLなどを通じて、多様性・協働性及び課題解決力の向上を図る	36	20%										50	29	16%										50	26	20%										60				
11. 海外大学との遠隔授業などを通じてグローバル化対応能力の向上を図る	11	11%										30	10	11%										30	14	11%										35				
回答数合計	214												182												133															

※ 達成度の中央値が50%以上は○

※ 達成度の中央値が50%以上は○

※ 達成度の中央値が50%以上は○